



新型コロナウイルス 感染予防と共に

施設長

山内 知枝



『二〇二〇年の過ぎ去ることの早かったことは、皆様共通して挨拶になっていませんか。まさしく音野舎でもその通りの経過でした。創立二十二年を迎え始まった令和二年、更なるステップアップと、職員の疲労緩和を願っての年明けは一隻の豪華クルーズ船のアップ画像から始まりました。その報道は見近な問題となり、私たちを恐怖に陥れます。毎日の感染者数に心配を募らせながら、まずは自分たちの身を守ることにしました。ご利用者への感染は職員からの影響が一番と判断したからです。三月には看護師を中心に対策委員会を立ち上げ、厚労省や県から注意喚起のメールを基にマニュアル作成。会議、研修会は回数を増やしていきます。』

そのような状況下、さらに緊張感が増したのは南九州市発生の時でした。全職員の情報や感染防止に対する知識の確認。そして何よりも県外への遠出を禁止しました。幸いデイスービスの利用につきましては、二階の地域交流センターで実施出来るかと判断して続けることも出来ました。

このように早期の工夫が出来ましたのも、職員それぞれがお互いに信じ、信頼しながらの協力があったからこそと心温まる思いです。また、家庭においては子供たちの帰省や法事・実家へのお盆帰省も家族一丸となり協力していただき感謝いたします。

十月半ばには、南薩地域福祉部の疾病対策係・介護指導係の指導に加え、お二人の感染管理認定看護師が来園して下さり、施設内のラウンドと感染予防対策のご指導を仰ぎました。

ご利用者・そのご家族の方々には規制を強要し心苦しく感じておりますが、現段階ではまだまだ感染力の強いものと判断して、その他の感染症も鑑みて面会等につきましても規制強化といたします。リモートでの面会も取り入れる準備を進めておりますので、音野舎にご一報ください。厳しい制限ですがどうぞご理解の程をお願いいたします。このような経過にありながら、施設の四大大行事をはじめ、ボランティアの皆様との触れ合いも出来なかったことは音野舎に行き交う皆様にとって残念な時の経過でした。

何よりもこの情勢が良き方向に向かい、住みやすいふるさとであり、音野舎になりますように努力いたします。

ご挨拶の第一号が、新型コロナウイルス感染症に対する音野舎の取り組み報告になってしまいました。引き続き、感染予防に努めてまいります。従事者にとりましては、『我慢、我慢』の日々の継続ですが、どうぞお身体を労い、笑顔を忘れないようにしてください。

止まない雨はないと言いますが、どこかに明るい明日が待っていることを信じて令和三年への思いといたします。

かねてよりのご協力に感謝を込め、皆様のご健康を祈念しご挨拶とさせていただきます。



十五夜お団子づくり



十月一日、昔を思い出し出し団子作りに挑戦しました。「昔はよくこうして作ったもんだよ」「一升瓶にすき等を入れて飾ったよね」と手を動かしながらおしゃべりが弾みました。

いつもは何もしたがらない方も職員がちぎって手にのせると、ころころと上手に丸めて『ハイかわいいお団子の出来上がり!』みんなで作ったお団子は格別に美味しかったです。

多機能ホームでは、これからもご利用者に季節を感じて頂き、昔を思い出していただけるような機会をどんどん作っていかうと思います。



お口元気教室



小規模多機能ホームでは毎月お口元気教室を開催しています。今回のテーマは「嚥下障害について」です。うまく飲み込めなかったり、むせ込みなどを嚥下障害といいます。嚥下障害がある方は日本に約五百万人いるといわれ、嚥下障害になると低栄養になったり餅などを食べべて詰まらせ窒息したりすることもあります。また脳卒中、認知症、パーキンソン病、薬の副作用でも嚥下障害になると言われています。

他にも食べ物を見て、口に入れ、噛み、飲み込み、胃まで食べ物運ばれる一連の動作もイラストを使い分かりやすく説明しました。講話の後は口腔に関するゲームを行います。今回はソーシャルディスタンスをとるために嚥下障害チェックや口腔体操などを行ないました。ご利用者も真剣に聞かれ職員に質問をされる方もいました。

今後もお口元気教室を通して、少しでも口の中をきれいにしたり、よく噛んで食べていただきながら、毎日を元気に過ごしてもらいたいと思います。

嚥下障害チェック

- うまく飲み込めない、むせる
- 口から唾液や食べ物がこぼれる
- 食べられる食品の種類が限られる
- 食事に時間がかかる
- 食事量の減少、体重の減少
- 食後、口の中に食べ物が残る
- 痰が多い、せき込む
- 声や息がガラガラする
- 原因不明の発熱

※1つでも当てはまれば嚥下障害のサインかも!



運動会



十月第二週目に、デイサービスの運動会を実施しました。今年は、二階の地域交流センターを使用しました。送迎後、二階へ案内されエレベーターを降りると万国旗に迎えられ、運動会の雰囲気を感じながら会場に入りました。

開会式での代表選手による選手宣誓や、校長先生に扮した職員の挨拶等から始まり、準備運動をしていざ競技に入ります。

普段、傾眠気味な方が目覚めていたり、足が上がりえない方がよく上がっていたり、手が痛いと言えることがなかったりと、元気よく参加してくださいました。リレーでの必死な姿や缶積みでの真剣な表情、応援合戦での一致団結した姿等、皆様活気がありました。

どの競技にも一生懸命に取り組まれ、楽しい運動会になりました。



ひまわりドライブ



毎年恒例となっている、川辺の大久保へひまわりを見にドライブへ行きました。自らハサミを借り畑へ下りてひまわりを取られる方、奥様へのお土産にするといい帰宅時には嬉しそうに持ち帰られる方等々、それぞれ楽しめていました。久しぶりの外出行事に、「すったいだれたー」との声も聞かれましたが、綺麗な花を見て、お土産をいただいで、笑顔で帰宅されました。

毎年綺麗なひまわりを育ててくださっている大久保自治会の方々に、感謝感謝です。



敬老会

ケアハウス・デイサービス

ケアハウスとデイサービス合同の敬老会を実施しました。事務所や居宅の職員も劇（かぐや姫）に出演し、皆様も普段と違った職員の姿を見て、面白そうにいらつしやいました。また、おじいさん役として、急遽デイサービス利用の折尾清春様に依頼をしましたが、アドリブでの演技を披露され、役者顔負けの演技で皆様を驚かせていました。

ビンゴゲームでは、早めに数字の揃った方々が「ビンゴ!!」と大きな声で知らせてください、張り切って参加されました。

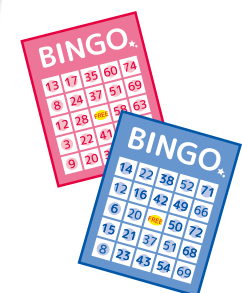
最後に体操を行い、慣れない動きに戸惑う様子や間違っって照れ笑いを浮かべる様子がありました。二事業所合同での行事は初めてでしたが、楽しい行事となりました。

多機能ホーム・グループホーム

九月二十五日、小規模多機能ホーム・グループホーム合同で敬老会を行いました。初めに利用者の皆様に長寿番付表をお配りしました。皆様ご自分の名前がどこにあるのか興味津々のご様子でした。一息ついたところで、多機能ホーム職員による、南九州市音頭が披露されました。職員の動きに合わせて腕や手を動かし楽しみました。

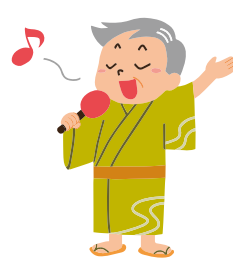
祝品の贈呈式では、多機能ホーム・グループホーム、長寿の代表者各一名ずつ出て頂きました。

グループホーム職員による手洗いダンスを披露した後、疫よけの神様アマビエが登場し、各個人へ手作りのお守りを配りました。最後にこれからも安全で健康な日々が続くよう皆で祈願しました。



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームの敬老会では、のど自慢大会を行いました。最初は皆様恥ずかしそうにされていましたが、「岸壁の母」「祭り」等の名曲が披露されると、とても盛り上がり、聴いている方も鈴やタンバリンを鳴らして一緒に楽しみました。最後はおはら節を歌い踊って心身ともにリフレッシュされた様子でした。



百寿祝い

田中フク様が一〇〇歳を迎えられました。田中様は、昔から仕事一筋で一生懸命農業に従事されました。早くにご主人を亡くされ、女手一つで息子様を育て上げ、とても頑張っておられました。また、お花や野菜を育てる事が好きで、お庭には季節ごとに様々な花が咲き、野菜もたくさん実っていたそうです。

九〇歳を過ぎた頃から当法人のデイサービスやショートステイ、小規模多機能ホームを利用し、長男夫婦に支えられながら在宅生活を送られていました。その後は、グループホームに入居され、現在は特別養護老人ホームで生活されています。

現在、面会制限中ですが「百寿祝い」ということで、感染対策を十分に配慮しながらご家族と写真撮影を行いました。ご家族からの「おめでとう」の言葉に「はい」としっかりお返事されました。

これからもどうぞお元気で過ごしてください。



AED研修



デイサービスでは、毎年事業所研修としてAEDの研修を行っています。万が一に備えて慌てずに対応が出来るように取り組んでいます。「実際にこのような現場に遭遇したときには焦ってしまう」との声も聞かれましたが、研修をしているのといないのでは大きな違いが出てくると思います。緊急時落ち着いて対応できるように、技術の習得に努めていきます。



コロナウイルス対策とお知らせ

当施設では、各職員が消毒液を持ち歩き常備しておくことや、コロナウイルス対策の研修等を行っています。各事業所でも対策を行い、ご利用者宅へ訪問する際には訪問前後で手指消毒を行い、帰園時には手洗い嗽の徹底を図っています。施設内は、こまめな換気とテーブル、椅子、手すり等の消毒を日中、夕方と行っています。また、隣席や向かい席との間にアクリル板を設置し、飛沫の予防を行っています。隣の方との会話がしにくかったり、見えにくかったりと、賛否両論ありますが、感染防止に向けて対策を続けていく必要性があると感じています。

利用者の皆様にも体温測定の実施やマスクの着用、窓越しでの面会にご協力いただいております。ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

前号でもお知らせしましたが、特別養護老人ホームでは面会の希望がある方につきましては窓越しではありますが、面会を実施しています。施設では、よりご利用

者・ご家族の希望に添えるようパソコン等を活用しての面会「リモート面会」もできるように準備しております。まずは、施設にお越しただいての「リモート面会」という形からはじめさせていただき、ゆくゆくは県外等の方々とオンラインやズーム等のアプリを利用した「リモート面会」ができればと考えております。（予約制）

今後もしもご利用者・ご家族が気軽にお互いの状態を確認できるようにし、喜んでいただけるように取り組んでいきます。



転倒予防教室



九月十一日、松久保公民館にて、松久保いきいきクラブの十三名の皆様を対象に、介護予防・転倒予防教室を実施しました。音野舎の作業療法士による転倒しやすい場所や原因について学び、実際に転倒予防体操を行い、立位ストレッチ、椅子での筋力トレーニング方法を身につけました。

介護支援専門員による認知症予防についての講話があり、認知症について改めて学ぶ機会となりました。また、脳トレを兼ねたクイズも出題され、皆様瞬時に回答を述べられていました。

コロナ感染症対策として、換気・手指消毒、受付時の検温、ソーシャルディスタンス、マスク着用などを実施したうえでの開催となりました。一時間半という短い時間でしたが、松久保いきいきクラブの皆様と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



鳳凰高校実習生



十一月九日から十三日の五日間、鳳凰高校の一年生五名が実習に来てくれました。実習生と中庭でゲートボールを楽しんだり会話を楽しんだりして過ごされました。久しぶりの実習生に微笑ましい表情を見せて下さった利用者の皆様でした。



☆みんなでチャレンジ☆

●並び変えて1つの言葉にしてみよう!

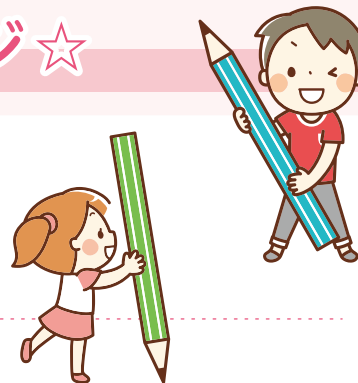
Q1 「か ち う ん こ」

Q2 「き ざ ふ く ち ゆ わ」

Q3 「う じ ろ ら い し う は ゆ」

Q4 「み う し う し ゅ み き ゅ な」

Q5 「わ い こ か っ ん い う へ か と」



●数字内に共通する漢字を考えてみましょう!

王				異	口	同	⑧
政							信
復							
⑥	今	東	⑦	門	外	⑨	出
			走			通	

答えは2ページの下へ

発行

社会福祉法人 滴々会
 高齢者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
 〒897-0302
 鹿児島県南九州市知覧町郡2072番地2
 TEL 0993(58)7171 FAX 0993(83)4771
 URL <http://www.nonnosya.com/>
 E-mail info@nonnosya.com

編集後記

2020年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、東京オリンピックなどの様々なイベントが延期・中止になったりと、大変な1年でした。早く平穏な日々が戻ることを願いたいものです。2021年は、どのような年になるでしょうか。皆様が、健康に過ごせる1年でありますように・・・。